

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
'99 3.26 No. 4939

貨物ベアゼロ攻撃粉碎

3・30第二波スト貫徹へ

強制配転粉碎! 運転保安確立! 60歳まで働ける労働条件を!

千葉機関区に全力結集を

99春闘。第二波ストライキ方針決定される
●日 時 3月30日 12時以降
●スト対象者 検修関係全地上勤務者
(東日本および貨物)
●同日14時から千葉機関区において
『貨物超低額回答打破、第二波スト貫徹!』
動労千葉総決起集会を開催する

本部執行委員会は、99春闘第二波ストライキを3月30日に決定した。スト対象者は東日本および貨物会社の検修関係全地上勤務者、14時から千葉機関区において『貨物超低額回答打破、第二波スト貫徹動労千葉総決起集会』を開催することを決定した。全ての組合員がこの総決起集会に結集し、全力でこの第二波ストを闘いぬこう。

3月30日は、動労千葉結成から20年目にあたる。ストライキの息吹のなかから、新たな動労千葉の闘いに踏み出そう。全力で千葉機関区に結集しよう。

第一波ストライキ貫徹! 第二波ストへ突き進もう

99春闘第一波ストは、3月23日検修関係78名・営業関係10名が、99春闘勝利!強制配転者の原職復帰!運転保安確立を求めてストに突入した。夕刻には千葉市民会館で総決起集会を開催し、99春闘勝利!中江・水野選

挙闘争勝利に全組合員の総決起を確認した。この第一波ストの勝利に続き、第二波ストを闘いぬこう。

99春闘は、春闘史上最低の低額回答が続いている。先週ベア回答されたJR西日本が千円、東海が千七百円とこれまでにない低額回答に終わっている。さらに六期連続の経常赤字になる貨物会社は早くからベアゼロを会社幹部が公言している。こうした状況にもかかわらず連合も含めてストライキの闘いがなく、動労千葉が二波のストを闘う意義は大きなものがある。またこの間のストは検修など地上勤務者を先頭に闘われている。強制配転者の原職復帰、士職登用、運転保安確立、貨物格差粉碎へ、動労千葉の総力を上げた闘いが力強く始まっている。第二波ストライキを貫徹し、諸要求の実現へ団結をうち固めて闘いぬこう。貨物ベアゼロを許すな。30日14時千葉機関区に総結集しよう。

ひとつの間違えば

脱線事故! 着線変更

千葉支社は、この三月から3052M・上り特急列車の菅田駅の着発番線を変更した。それまでは当然のことながら主本線(3番線)に停車していたものを副本線(2番線)に変更したのである。

このような変則的な取り扱いをした理由は、3番線だと乗客が特急券を買わないまま蘇我駅まで乗車してしまうからだというのである。ホームを変えて特急券を持たない者が乗車しないようにしめだすが目的なのだ。

絶対にやっちゃいけないことだ!

わずかばかりの増収を狙っての着発線変更だが、この判断は運転保安上重大な問題を投げ棄てて下されたのである。菅田駅では、副本線に入るためには駅手前で35km/h制限のポイントをわたらなければならない。その手前の第一閉そく信号機付近では120km/hのスピードがでてい箇所なのだ。しかも線形的には下り込んでいく。この着線変更により、運転士が一寸うっかりすれば即脱線につながる。京葉運輸区当局ですら、これには危機感をもち、連

日指導員をこの列車に添乗させている状態だ。

こんなことは例えどのような理由があろうと、絶対にやってはならないことだ。それも特急券を持たない乗客に網をかけるためにこのようなことをやるなど、言語道断という他はない。このような発想そのものも、口先ではきれいなことを言いながら、実際は安全のことなど眼中に追っていない現在のJRの現実を示している。

事故の教訓は何ひとつ生かされていない

そもそもこの問題は、外房線複線化に伴う東浪見駅の35km/hポイントが問題となったことにさざんざん議論を重ねてきたことである。そのとき千葉支社は、団交の席でも「問題がある」という認識はもっている」と回答していたのだ。にも係わらずなぜ同じことを繰り返すのか。この間幾度となく起きた重大事故の教訓は何ひとつとして生かされていない。まさに信じられない状態だ。

3052M列車の菅田駅停車番線を主本線に戻せ! 運転保安をないがしろにした施策は直ちに中止せよ!